

# セミナー・イベント参加費 仕訳・勘定科目 早見表

## 1. 参加費の性格・目的の整理（勘定科目の前提）

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	セミナー／イベント参加費に「固定の勘定科目がない」前提を理解し、参加目的を特定した - 基準・補足：目的により勘定科目を決める（目的不明のまま科目を決めない）
<input type="checkbox"/>	「団体所属の一環としての参加」かどうかを確認した（所属団体が提供するセミナー／イベントか）
<input type="checkbox"/>	「飲食を伴う参加」かどうかを確認した（懇親会・飲食を含むか）
<input type="checkbox"/>	「従業員の研修目的」かどうかを確認した（教育・研修としての参加か）
<input type="checkbox"/>	「福利厚生目的」かどうかを確認した（従業員向けの福利厚生としての性格か）
<input type="checkbox"/>	「企業の認知度向上（広告目的）」かどうかを確認した（社名露出等が目的か）

## 2. 目的別の勘定科目選定（参加費）

### 2-1. 諸会費（団体のセミナー／イベント）

チェック	注意事項
<input data-bbox="160 398 202 442" type="checkbox"/>	所属団体が開催・提供するセミナー／イベント参加費として「諸会費」を選定した - 基準・補足：団体の年会費・入会費も「諸会費」として処理可能（科目の乱立を避ける）。

## 2. 目的別の勘定科目選定（参加費）

### 2-2. 交際費（飲食を伴う／取引先関連の参加）

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	飲食を伴うセミナー／イベント参加費として「交際費」を選定した
<input type="checkbox"/>	取引先が主催するイベント参加、または取引先を誘って参加する性格がある場合に「交際費」を選定した

## 2. 目的別の勘定科目選定（参加費）

### 2-3. 研修費（従業員の研修目的）

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	従業員の研修目的の参加費として「研修費」を選定した
<input type="checkbox"/>	セミナー参加費と教材費等をまとめて支払った場合、まとめて「研修費」とする方針かを確認した - 基準・補足：教材費を「新聞図書費」として分ける運用も可能だが、普段使わない科目で帳簿が煩雑化する場合は「研修費」集約も選択肢。
<input type="checkbox"/>	まとめて計上する場合、摘要欄に内訳を記載した（参加費／教材費など）

## 2. 目的別の勘定科目選定（参加費）

### 2-4. 福利厚生費（福利厚生目的：要件確認が必須）

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	<p>「福利厚生費」で処理する場合、以下3要件をすべて満たすことを確認した</p> <ul style="list-style-type: none"><li>- <input type="checkbox"/> すべての従業員が参加できるセミナー／イベントである</li><li>- <input type="checkbox"/> 常識の範囲内の金額である</li><li>- <input type="checkbox"/> 社内規定でセミナー費等の支給基準を設けている</li></ul>
<input type="checkbox"/>	<p>上記3要件を満たさない場合、「福利厚生費」以外の勘定科目へ見直した</p> <ul style="list-style-type: none"><li>- 基準・補足：イベントの内容・性格を吟味して科目を決める。</li></ul>

## 2. 目的別の勘定科目選定（参加費）

### 2-5. 広告宣伝費（認知度向上目的）

チェック	注意事項
<input data-bbox="160 399 202 441" type="checkbox"/>	企業の認知度向上のためのイベント参加費として「広告宣伝費」を選定した - 基準・補足：社名入りのゼッケン等、社名露出を伴う参加など。

### 3. 支払方法別の仕訳（参加費）

#### 3-1. 現金払い（当日払い）

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	現金払いの仕訳を「（選定した費用科目）／現金」で記帳した - 記帳例：借方＝諸会費（または交際費／研修費／福利厚生費／広告宣伝費）、貸方＝現金

### 3. 支払方法別の仕訳（参加費）

#### 3-2. クレジットカード払い（2段階）

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	クレジットカード払いの初回仕訳を「（選定した費用科目）／未払金」で記帳した - 基準・補足：カード払いは一旦「未払金」で処理する。
<input type="checkbox"/>	カード利用額の引落時に「未払金／預金」で記帳した
<input type="checkbox"/>	クレジットカード払いは「記帳が2回必要」な点を踏まえ、引落時の記帳漏れがないことを確認した

## 4. セミナー／イベントを主催した場合（該当時のみ）

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	運営スタッフ（従業員）等の人件費を「給与手当」として計上した（該当がある場合）
<input type="checkbox"/>	集客のための費用を「広告宣伝費」として計上した（該当がある場合）
<input type="checkbox"/>	会場を借りる費用を、目的に応じて「広告宣伝費」または「販売促進費」で計上した（該当がある場合） - 基準・補足：販売促進や今後の売上増が目的なら「販売促進費」も選択肢。
<input type="checkbox"/>	配布物の費用について、宣伝につながる場合は「広告宣伝費」または「販売促進費」で計上した（該当がある場合）

## 4. セミナー／イベントを主催した場合（該当時のみ）

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	終了後の懇親会費用を「交際費」として計上した（該当がある場合）
<input type="checkbox"/>	勘定科目として「交際費」を選択したのち、必要があれば補助科目で用途を分別していることを確認した - 基準・補足：帳簿の煩雑化を避けるため、勘定科目は統一する。
<input type="checkbox"/>	同じ目的の経費について、途中で勘定科目を変更していないことを確認した

## チェック漏れ防止のための注意事項

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	参加費は「目的で勘定科目が決まる」ため、目的が曖昧なまま処理しないこと。
<input type="checkbox"/>	福利厚生費は要件（全従業員参加可・常識的金額・社内規定の基準）を満たさないと処理できないこと。
<input type="checkbox"/>	クレジットカード払いは記帳が2回（費用計上時と引落時）であり、引落時の記帳漏れが起きやすいこと。
<input type="checkbox"/>	科目や名称（例：交際費／接待交際費）は運用途中で変えず、帳簿が煩雑にならないよう統一すること。

## セミナー・イベント参加費 仕訳・勘定科目 早見表

参加目的・利用シーン	勘定科目	判定の目安	仕訳例 (現金払い)	仕訳例 (クレジット カード払い)
団体に所属して業務を行い、 <b>所属団体が提供するセミナー</b> ・イベントに参加	諸会費	団体の年会費・入会費 も同様に扱える	借方：諸会費／ 貸方：現金	支払時：借方：諸会費／ 貸方：未払金 引落時：借方：未払金／ 貸方：預金
飲食を伴うセミナー・イベン ト、取引先主催のイベント参 加、取引先を誘って参加	交際費	接待・慰安などの性格 がある	借方：交際費／ 貸方：現金	支払時：借方：交際費／ 貸方：未払金 引落時：借方：未払金／ 貸方：預金
従業員の研修としてセミナー 参加（教材費を含む場合もま とめて可）	研修費	参加費＋教材費をまと める運用も可能（摘要 に内訳を書く運用も 可）	借方：研修費／ 貸方：現金	支払時：借方：研修費／ 貸方：未払金 引落時：借方：未払金／ 貸方：預金

## セミナー・イベント参加費 仕訳・勘定科目 早見表

参加目的・利用シーン	勘定科目	判定の目安	仕訳例 (現金払い)	仕訳例 (クレジット カード払い)
従業員の福利厚生目的 のセミナー・イベント	福利厚生費	下の3条件を満たす必要あり <ul style="list-style-type: none"> <li>● すべての従業員が参加できる セミナー・イベントである</li> <li>● 常識の範囲内の金額である</li> <li>● 社内規定で支給基準（セミナー費の支給ルールなど）を設けている</li> </ul>	借方：福利厚生費／貸方：現金	支払時：借方：福利厚生費／貸方：未払金 引落時：借方：未払金／貸方：預金
認知度向上を狙うイベント参加（社名掲出、企業名入りゼッケンで参加する大会など）	広告宣伝費	広告・宣伝としての性格が明確	借方：広告宣伝費／貸方：現金	支払時：借方：広告宣伝費／貸方：未払金 引落時：借方：未払金／貸方：預金

※2026年2月時点の情報をもとに作成しています